

謹賀新年 年頭の「あいさつ」



大石田町長

庄司喜與太

新年明けましておめでとうござい
ます。皆様におかれましては輝かし
い新年をお迎えのことと心からお慶
び申し上げます。



防災・減災の取り組みを進め 安心・安全なまちに

さて、昨年は全国で自然災害が相次いだ
年でありました。6月の大阪府北部地震、
9月の北海道胆振地方を中心とする地震、
西日本を中心に大きな被害が発生した平成
30年7月豪雨など、全国各地で多数の被害
と犠牲者が出ました。

8月には県内においても、2度にわたる
豪雨が庄内・最上地方を中心に大きな被害
をもたらし、大石田町においては町道や河
川に被害がありました。さらに、お盆に町
を襲った集中豪雨により最上川の水位が急
上昇し、町最大の行事「大石田まつり最上
川花火大会」も順延を余儀なくされました。
自然災害への対応力を高めるべく、5月に
下河原運動公園で「最上川総合水防演習」
が行われました。消防団員はじめ多くの町
民の皆さまからご協力いただき、最上川流
域市町村や警察・消防・自衛隊など2千人
規模の演習となりました。さらに、10月に
は豊田地区自主防災会など地区住民の協力

により、震度6強の地震を想定した町防災
訓練が豊田地区で行われました。
本年には、地域防
災の拠点施設である
「尾花沢市消防署大
石田分署」の改築を
予定しています。訓
練設備や備蓄倉庫の
機能を持つ施設とし、
災害発生時の備えを
万全にしていま
す。



最上川総合水防演習

新たな雪対策の取り組みである除雪有償
ボランティア制度には、多数の町民に参画
いただいております。昨年は5年ぶりの大
雪となり、町では1月25日に豪雪対策本部
を設置し、流雪溝の通水時間延長等の対応
をとりました。冬の快適な暮らしのため、
引き続き行政と住民の総力を結集して雪対
策に取り組んでまいります。

文化・交流・スポーツ活動の 推進について

町民交流センター「虹のプラザ」がオー
プンから1年を迎えました。この間、多目
的ホールは各種団体のコンサートや演劇公
演、企業の研修や研究発表などの文化・交
流拠点として、また図書館や子育て世代活
動支援センター、保健センターは町民各層
から学び・子育て・福祉の場として積極的
に活用されており
ます。虹のプラザ
が町民の皆さまに
とって、より魅力
的な施設となるよ
う努めてまいりま
す。



おおいしだふれあいコンサート

昨年7月に虹の
プラザで「奥の細
道サミットin大石
田」が開催されました。本年は松尾芭蕉の
「おくのほそ道」紀行から330年の節目
にあたります。サミット加盟団体と交流・
連携を図り、芭蕉はじめ多くの文人墨客が
愛した文化の町として広くPRしてまいり
ます。

大石田スポーツクラブが昨年3月に発足
し、健康の保持・増進のほか、仲間づくり
など世代を超えて様々なニーズに対応した
スポーツ活動に取り組んでおります。クラ
ブへの参加者拡大を図り、「町民1人1ス
ポーツ」の普及に努めてまいります。

交流人口拡大に向けた 取り組みについて

東北中央自動車道「大石田村山インター
チェンジ」が昨年4月に開通しました。一
日も早い全線開通に向けて引き続き要望を
続けるとともに、交通網の充実を交流人口
の拡大と地域経済の発展につなげるための
取り組みを進め
ます。

町では、まち
歩きを促そうと
町内各所に案内
看板「まちかど
案内マップ」の
設置を進めてい
ます。案内マッ
プでは、町内の
飲食店や観光名



大石田村山IC開通記念式典

所、催しを紹介しています。この取り組み
に加えて、米沢栄養大学と連携したウォー
キングマップ作りや東北芸術工科大学と連
携した観光ホームページの作成を進めてい
ます。これらの施策と、町商工会女性部が
制作したまち歩きマップの活用、観光ボラ
ンティアガイド虹の町案内人、地域おこし
協力隊が運営する「KONOKURA
(こえのくら)」での観光案内などにより、
大石田駅を起点に
した観光誘客を
図ってまいります。
大石田町創生に
向けて、私の政治
信条であります
「ここ通うあた
たかい町政」を基
本に、今年の干
支「亥」のごとく、
まっすぐに、まちづくりにまい進していく
決意でありますので、皆様のご協力とご鞭
撻をよろしくお願いいたします。
最後に、本年が皆さまにとりましてすば
らしい年となるようご祈念申し上げます。



まちかど案内マップ